

自立した生活を営める地域社会の実現に向けて



協議会の様子

小野町自立支援協議会が6月27日に設立され、11人の方に委嘱状が交付されました。

この協議会は、障がいのある方が、その有する能力や適性に応じ、自立した生活を営むことができる地域社会の実現に向け、地域における福祉サービスに関するシステムづくりを協議する場として設立されたものです。

会議の席上において、会長に草野典子委員、副会長に橋本薫委員が選

任されました。

今後、委員の方には、障がい者に関する地域の課題発見や対応、計画の策定や見直しなどについて協議していただくこととなります。委員は次の方々です。

■小野町自立支援協議会委員(敬称略)

【福祉】

橋本 薫(身体障がい者福祉会)

山口八重子(こまち作業所)

草野 典子(民生委員協議会)

【保健・医療】

大川原幸子(健康福祉課)

【教育】

藁谷美枝子(中央さくら保育園)

石井 恵(小野中学校)

【就労】

鈴木 康弘

(地域生活支援センターふつとわく)

【警察】

菅野 友春

(田村警察署 小野分庁舎)

【地域および障がい者などの福祉に関する業種】

上遠野芳勝(社会福祉協議会)

近藤 務(県中保健福祉事務所)

村井 恭子(県中児童相談所)

講演会「子どもの健康と放射線の影響」 正しい知識を学ぶ

「子どもの健康と放射線の影響」をテーマにした講演会が7月13日、勤労青少年ホームで開かれました。

この講演会は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、放射線が子どもたちの健康に及ぼす影響などについて、保護者の不安を少しでも解消できるようにとの思いから小野町PTA連絡協議会が主催したものです。



講演する菊田先生

講演では、福島県立医科大学臨床腫瘍センター小児腫瘍部門長(公立小野町地方総合病院小児科外来非常勤医師)の菊田敦先生を講師に招き、環境放射線が人体に及ぼす影響などについて、さまざまな事例や場面に照らし合わせながら、分かりやすい説明がなされました。

会場を訪れた多くの皆さんは、大切な子どもたちを地域みんな守り育てていくために、私たち大人が放射線とどのように向き合っていけばいいのか、菊田先生の講演から正しい知識を学び、安心感を得たようです。

なお公立小野町地方総合病院では、毎週水曜日・金曜日の小児科外来診療日に合わせ、ご来院いただければ、お子さんに与える放射線の影響について、無料相談を受けることができますので、ご利用ください。

協同飼料株式会社 新研究施設完成

配合飼料の開発、製造、販売を手掛ける東証一部上場の協同飼料株式会社(本社神奈川県横浜市)が、小野町大字雁股田字永風地内にある緑の工業団地に技術開発を目的とした大規模な新研究施設の建設を昨年7月から進めており、このほど完成し8

月から業務を開始することになりました。

建設された新研究施設は新技術、新製品の開発力を充実するため、分散していた同社の養鶏、養豚、養牛の飼料開発部門を小野町に集約して、人材・能力を結集し総合力を強化した総合研究施設として開設したものです。

今後のご発展をお祈りします。